

令和元年度進行管理・評価シート
桐生市 歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）
（最終変更 令和2年3月27日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画に関する施策		2
2 景観計画による景観誘導等		3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 伝統的建造物公開活用事業		4
2 歴史的風致形成建造物保存整備事業		5
3 伝統的建造物保存修理事業		6
4 伝統的建築物保存技術継承支援事業		7
5 本町通り整備事業		8
6 桐生新町伝建地区及び周辺整備事業		9
7 景観阻害物調査改善事業		10
8 伝統産業周知啓発事業		11
9 伝統産業保護育成事業		12
10 地場産業振興事業		13
11 織物体験事業		14
12 祇園屋台・鉾伝承活用事業		15
13 無形民俗文化財伝承支援事業		16
14 歴史まちづくり推進啓発事業		17
15 「桐生を好きな子供」を育てる事業		18
16 歴史的建造物調査活用事業		19
17 歴史文化基本構想等策定事業		20
18 歴史文化資料公開事業		21
19 文化財案内標識整備事業		22
20 観光案内等情報提供事業		23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存又は活用の現況について		24
2 文化財の修理に関する取組み		25
3 文化財の防災に関する取組み		26
4 文化財の普及・啓発に関する取組み		27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		28
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 桐生祇園祭保存会の取り組みについて		29

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		30
-------------------------	-------	----

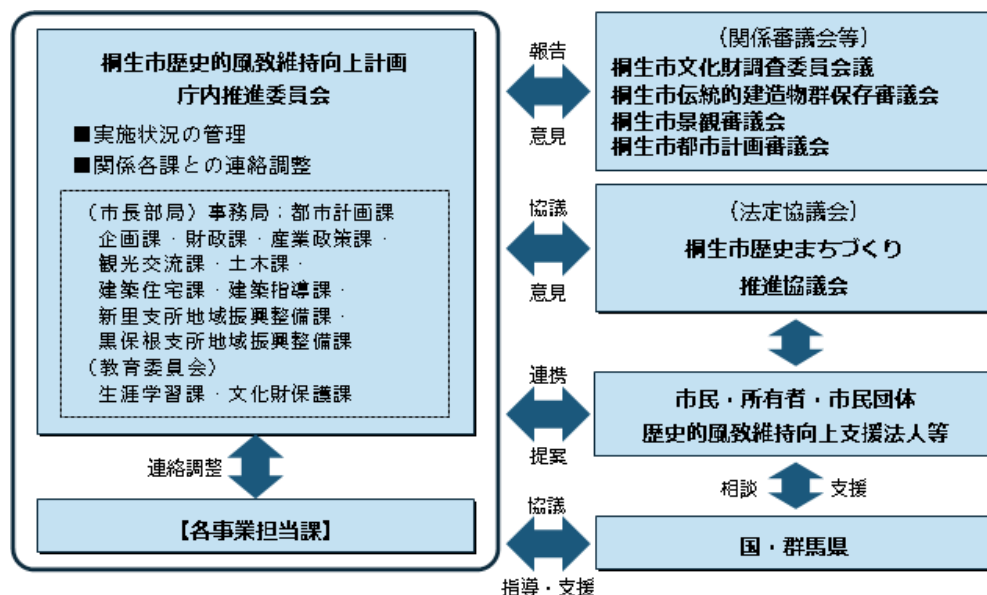
評価軸①-1

組織体制

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
計画の推進体制		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	歴史的風致維持及び向上を推進のために、関係各課課長で組織する「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を引き続き設置し、担当部局との連絡調整や実施状況の管理と評価を行う。また、国・県の関係機関との協議を行うと共に、「桐生市歴史まちづくり推進協議会」において、事業の進捗状況や計画変更等にかかる協議を行う。必要に応じて都市計画審議会や文化財調査委員会議、市民団体などと連携を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
年度内事業進捗状況の報告、歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取、計画の軽微な変更と進行管理評価シートに関する意見聴取を図るため、令和元年9月6日、令和2年2月19日に「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を実施、また平成31年4月23日、令和元年9月18日、令和2年3月に法定協議会である「桐生市歴史まちづくり推進協議会」を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○第10回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会

- (令和元年9月6日(金)開催)
- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
 - ・歴史的風致形成建造物の指定について

○第11回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会

- (令和2年2月19日(水)開催)
- ・進捗管理・評価シートについて
 - ・軽微な変更について

○第10回桐生市歴史まちづくり推進協議会

- (平成31年4月23日(火)開催)
- ・進捗管理・評価シートについて
 - ・軽微な変更について

○第11回桐生市歴史まちづくり推進協議会

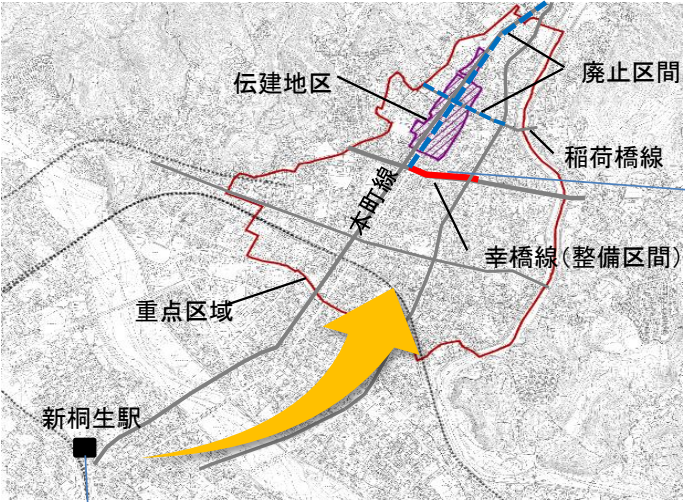
- (令和元年9月18日(水)開催)
- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
 - ・歴史的風致形成建造物の指定について

○第12回桐生市歴史まちづくり推進協議会

- (令和2年3月書面開催)
- ・進捗管理・評価シートについて
 - ・軽微な変更について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
都市計画に関する施策		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	・重点区域は、桐生都市計画区域の市街化区域内(一部調整区域あり)で、桐生地区の中心市街地に位置している。重点区域の中心には、本町通りを中心に形成された桐生新町伝建地区が都市計画決定されていることから、中心市街地としての都市機能の集積と歴史的な町並みの保全との両立を図っている。 ・都市計画マスタープランにおける目標の1つとして「歴史・文化資産を活かした魅力的なまちの形成」を掲げ、「拠点」「都市軸」などの構成要素を基本に歴史・文化資産を活かした魅力的なまちの形成を推進としている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成23年度に伝建地区の町並みや地割を保存するため同地区内の都市計画道路(本町線・稲荷橋線の一部)を廃止し、伝建地区の通過交通の抑制を図りつつ円滑な交通網の構築を図るため幸橋線の現道拡幅整備を進めた。 ・桐生市の玄関口である新桐生駅について、首都圏等からの観光需要を見据え、重点区域を含むまちなかへの円滑な誘導と交流人口の拡大による地域活性化を図るため、交通結節点としての機能強化と良好な景観形成による駅前広場整備を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 位置図 R1幸橋線整備: 用地買収・電線共同溝・道路築造工事 R1新桐生駅前広場整備: 用地買収			

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
景観計画による景観誘導等		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	桐生市景観計画における良好な景観の形成に関する方針では、地域の特徴や個性を生かした景観形成を図るため、市域全域を6つのゾーンに分け、ゾーンごとの景観形成誘導基準や色彩基準を設けている。重点区域にも含まれている「歴史景観」ゾーンでは、他ゾーンより厳しい色彩基準を設けるなど歴史的資源が周辺景観と調和が図られるように誘導し、より魅力的な景観の形成と保全を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成28年に制定した「桐生市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施した。市域全域を景観計画区域とし、対象となる規模の建築行為等について届出を課し、色彩基準や意匠等について助言指導を行い景観誘導を図った。本年度届出件数:51件(令和2年1月8日現在) うち、重点区域内 2件・歴史景観ゾーン内 0件 ・多くの人に景観を意識し、考えていただく機会とするため景観講演会を開催(新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 景観講演会チラシ 景観講演会 「愛する街 桐生 ～桐生を愛する理由～」 (講師 翻訳家 メッテ・ホルム氏) 日時: 令和2年3月20日 18:00～ 場所: 市民文化会館スカイホール ※新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
伝統的建造物公開活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和8年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業		
計画に記載している内容	地域の歴史や伝統産業に関する資料展示等を行い、当地区の歴史的な価値について理解を深めるために、補助金を活用して桐生新町伝建地区にある伝統的建造物を取得し、活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○建物修理基本設計の実施 ・建物の状況整理 ・保存修理の方針、計画の作成 ○公開施設の保存活用計画の検討 ・重伝建地区公開施設保存活用計画検討委員会の開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	○今後の事業予定 ・保存活用計画の作成、実施設計(令和2年度～令和3年度) ・建物修理工事(令和4年度～令和5年度)		
状況を示す写真や資料等			

●建物修理基本設計の実施

建物修理基本設計を業務委託にて実施した。

- ・委託業者 協同組合 群馬県建築設計センター
- ・契約期間 令和元年9月3日～令和2年3月27日

●重伝建地区公開施設保存活用計画検討委員会の開催

第1回目の検討委員会を開催した。

- ・開催日 令和2年2月7日(金) 午後2時から
- ・検討委員会委員 13名

[委員構成]

- ・学識経験を有する者
- ・桐生市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員
- ・桐生市文化財調査員
- ・関係地域を代表するもの(区長、町会代表等)

【位置図】



<桐生新町重要伝統的建造物群保存地区>



整備対象建物

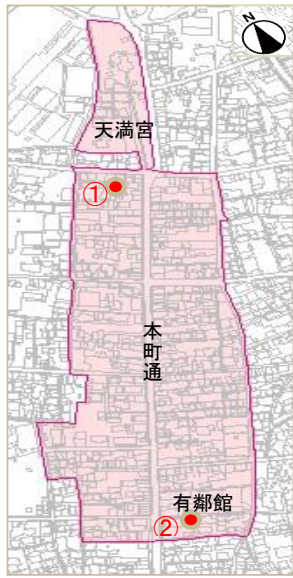
評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定し、建造物の価値を高め、所有者の意識付けや観光資源としての活用を図る。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画書記載の歴史的風致形成建造物候補18件のうち、下記の3件の建造物について指定を行った(R2年2月12日指定標識授与)。なお、指定標識は、歴史的風致である桐生織の技術により、その指定建造物を背景に織りこんだ桐生織標識を採用した。また、今後、国の交付金の活用を図りながらの修理を見込んでいることから、補助金交付要綱の検討を行った。これまでの指定件数・・・計6件(R01年度:3件指定、H30年度:3件指定)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		指定済み歴史的風致形成建造物の積極的な周知について検討を行う	
状況を示す写真や資料等			
●指定した歴史的風致形成建造物  第4号 上毛電気鉄道西桐生駅駅舎・プラットホーム上屋  第5号 美和神社  第6号 桐生西宮神社  桐生織による標識			

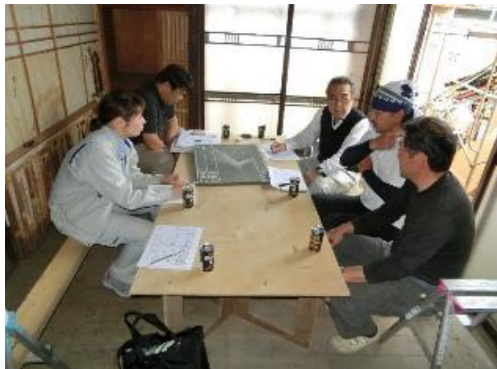
評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
伝統的建造物保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～令和8年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業		
計画に記載している内容	桐生新町伝建地区の特定物件の保存修理を実施する事業者に対し、修理に掛かる経費に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○重伝建地区内の特定物件2件の保存修理事業を実施 ①森邸長屋 ②旧前原邸			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・保存修理事業(補助制度)の主旨について、事業者(建物所有者)の理解を深めることが必要 ・保存修理を行なう技術者の確保(養成)が必要		
状況を示す写真や資料等			
●保存修理事業の状況			
【①森邸長屋】			
			
修理前		修理中	
【②旧前原邸】			
			
修理前		修理後	
【位置図】  天満宮 ① 本町通 有鄰館 ② <桐生新町重要伝統的建造物群保存地区>			

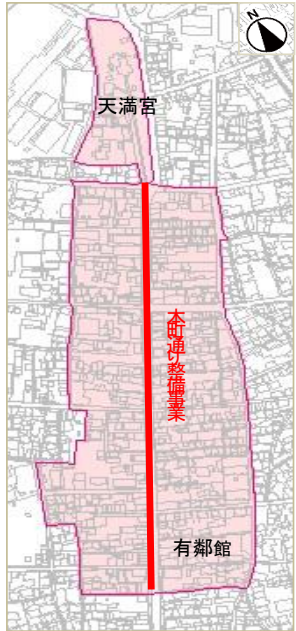
評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
伝統的建築物保存技術継承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物の保存・活用の促進に向けて、伝統工法や技術を継承するための専門家を育成する団体等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○研修活動については、本計画策定以前から活動を行っており、これまで2期に渡り取り組んできた。平成30年度には、活動成果をまとめ発表会を行い、地区住民などに対し活動成果を紹介した。なお、本研修活動の参加者の中から、令和元年度に実施した保存修理事業の設計監理や施工に携わった者もあり、これまでの活動に対する一定の成果を確認することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		○活動内容について ・一定期間の研修を終え参加者それぞれが各現場にて実践の段階に移っており、今後の活動については、実際の現場の中からの発生する課題等を整理し検討していきたい。 ○実施体制の課題 ・伝統工法について関心を示す技術者が少なく、新たに研修参加が見込めない。	
状況を示す写真や資料等			
●研修活動の参加者が携わった保存修理事業  保存修理事業を実施した建物  左官工の施工状況  設計監理者、施工業者、行政との現場での打合せ			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
本町通り整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～令和5年度		
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)		
計画に記載している内容	桐生新町伝建地区内の本町通りを、歴史的な町並みとの調和を図るために、電線類地中化と歩道整備を行い、舗装等の美装化を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○道路空間計画(整備計画)の検討 ・群馬県(桐生土木事務所)、庁内関係課と協議、検討を行った。 ・地区住民に対し説明会を開催し計画の内容について意見等を伺った ○電線地中化の際、支障となる水道本管の移設工事を実施 ・工事期間 H30年度～R1年度 ○本町通りの西側歩道下の水路遺構について、電線地中化に伴い抵触する箇所について発掘調査を実施 ・調査期間 H29年度～R2年度			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	工事や調査の実施に伴う、地元や関係機関との調整が課題であり、事業期間内に完了するよう調整に努める		
状況を示す写真や資料等			
●本町通り 道路空間計画イメージ  整備前  整備後 本町一丁目  整備前  整備後 本町二丁目 【位置図】  天満宮 有鄰館 本町通り整備事業 ＜桐生新町重要伝統的建造物群保存地区＞			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
桐生新町伝建地区及び周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)・市単独事業		
計画に記載している内容	周辺景観に配慮した市道の美装化や歩道整備とともに、地域の魅力を満喫できるよう周辺環境整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市内随一の集客数を誇る桐生が岡公園から近接の桐生新町重伝建地区への回遊性の向上等を目的とした市民ワークショップを計3回開催し、中間に位置する通称藤棚広場の整備活用や路地の美装化等の方向性を一緒に検討し、整備計画の骨格を作成した。 (第1回: 令和元年11月23日、第2回: 同年12月14日、第3回: 令和2年2月15日、のべ70人参加) ・桐生が岡公園下の未利用広場(藤棚広場)の活用整備のため測量を実施した。 ・歴史的風致と歴史的風致形成建造物に関する情報板を1基設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		伝建地区内で進められている景観に配慮した本町通り整備との整合をどう図っていくのか、住民との合意形成を図りながら進めていくことが求められる	
状況を示す写真や資料等			



ワークショップの様子(第1回)



ワークショップの様子(第2回)



活用されていない公園下の藤棚広場

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
景観阻害物調査改善事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	桐生市景観計画を策定し、群馬県から屋外広告物条例を移譲されたことから、景観を阻害している建築物や屋外広告物の改善に向けて現状調査し、実態を把握したうえで指導や相談を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・屋外広告物の設置基準に適合しないものや未手続の広告物の表示者に対して改善要請を行い、景観を阻害する屋外広告物の改善に努めた。(指導件数16件) ・違反広告物把握のための定期的なパトロールの実施や、違反簡易広告物の除却活動を行い良好な景観の保全に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 指導前 ▶  指導後			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
伝統産業周知啓発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成24年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	織物にゆかりの深い建物を活用して織物産業関連資料を展示し、織物に関する歴史や技法の理解を深める機会を創出する。また、伝統産業における各工程や技法を、ホームページや動画等、各メディアを活用しながら、情報発信を行うとともに、見学や体験イベントなどを通して、周知啓発を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
織物を中心とした郷土資料展示を桐生織物記念館において継続実施し、企画展示を3回実施した。うち、桐生織の技術を知ってもらうため、「桐生織伝統工芸士の技」展も実施した。また、市のホームページには、桐生織物の製造工程の詳細や動画を継続掲載した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



企画展の様子



桐生織伝統工芸士の技展



市のホームページには工程の動画も

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
伝統産業保護育成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和39年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市の伝統産業である繊維産業は、生活様式の変化等による需要の変化への対応や技術の継承が課題になっているため、新商品の開発や新たな販路の開拓により、経営体質強化を図る。また、桐生織物に携わる職人の高齢化や新規就労者も少ないことから、伝統技術の継承や後継者を育成する環境を整えることで、伝統産業を保護・育成を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
桐生織物の新製品開発や宣伝、展示発表等各事業に係る経費に対して桐生織物協同組合や桐生刺繍商工業協同組合に対し補助を行った。補助金名称:需要開拓事業補助金(桐生織物新製品開発)(桐生織物宣伝)(国内婦人服地新製品開発)(刺繍展)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



桐生織物織姫展



桐生織物織姫展



桐生テキスタイルコレクション



新製品開発事業発表会チラシ

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
地場産業振興事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和62年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	繊維産業などの地場産業の振興・育成・発展を目的に公益財団法人桐生地域地場産業振興センターに対する運営経費の補助とともに、商品開発、情報収集提供事業補助、人材育成等支援事業補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
運営費の補助を行うと共に、桐生産地における繊維産業の展示事業(桐生テキスタイルプロモーションショー)や情報収集提供(専門家を招いたトレンドセミナー11/7)、後継者育成を目的とした繊維大学(R1.9～R2.2)など各事業に対して補助を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

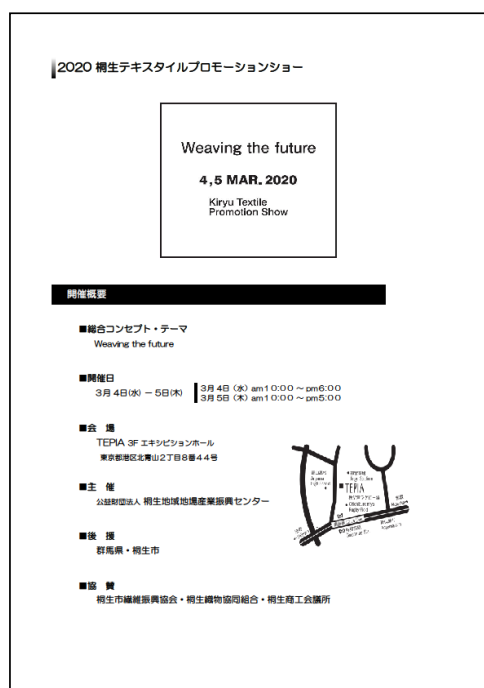
状況を示す写真や資料等



糸繰り機の説明を受ける繊維大学の参加者



トレンドセミナーの様子



2020桐生テキスタイルプロモーションショー

「Weaving the future」

日時: 令和2年3月4日・5日

場所: テピアエキシビションホール(東京都港区北青山)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
織物体験事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「桐生織 伝統工芸士」及び桐生織物協同組合事務局職員が学校へ出向き、学年単位で織物の仕組みや織物製品、伝統工芸品の特性、技法、原材料についての講話を行う。また、児童一人一人が実際に織機を使い、その仕組みを学びながら、織物製品を手織りで製作する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市内全小学校の3年生または4年生に対し、桐生織物の歴史や絹織物の仕組み、特性、技法、原材料などについての学習と手織り体験を実施した。講師は、桐生織を知り尽くした桐生織伝統工芸士が担当した。各学校に手織り用の織機を搬入して手織り体験を行ったり、絹織物の7つの技法を使った製品を持ち込み観察したりすることで、桐生織について実際に製品や織機に触れて学んだ。(市内17校 約720名) ・市内の中学校特別支援学級に所属する生徒が工房「風花」に集まり、1年に2回、回転整形式手織機「フラミンゴ」を使用し、手織り体験を行い、一人1作品のタペストリーなどを制作した。(生徒のべ約60名)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	桐生織伝統工芸士の参加調整が時期によっては厳しい。伝統工芸士の参加できる日と学校の予定を調整し、日程を決定していく。		
状況を示す写真や資料等			



桐生織の説明を真剣に聞く児童



手織り体験の様子



「機結び、できたよ！」

<実践報告書より>

- ・数種類の桐生織をルーペで細部まで観察でき、驚きと同時に桐生織の美しさを実感することができた。
- ・実際に数種類の布を拡大鏡を使って観察することで、糸が混じり合う様子の違いに気づくことができ、「全然違う！」と驚きの声を上げる児童が多数いた。
- ・手織りの際、機械の左右に赤と青のしるしがつけられ、緯糸を通すときやペダルを踏むときの説明が分かりやすかった。
- ・友達が織る際に機械の裏側から織る様子を見学することによって、織機についての知識をさらに深めていた。
- ・機結びの体験では、初めはなかなか結べない児童が多かったが、伝統工芸士さんや事務局の方に手伝っていただきながら、できるまで何度もチャレンジする姿が見られた。体験終了後も教室で繰り返し結んでいる児童が多く見られた。
- ・桐生市の織物が、伝統工芸品であること、長い歴史があることを実際に見たり触れたりして感じることは、とても貴重な体験だったと思う。
- ・糸を擦るのは難しく、上手にできず、はずれてしまったり、糸が切れてしまったりする子もいたが、工房の方に「自分の糸」と言われて真剣に擦っていた。第2回の時に自分の糸で織ると聞くと、みんな嬉しそうにしていた。(中学校特別支援学級)

<児童・生徒の感想より>

- ・桐生の織物が1300年も続いているなんてすごいと思った。
- ・戦国武将のいくさの旗に、桐生織が使われていると初めて知りました。驚きました。
- ・織物をルーペで見ると、一本一本織られていることがよく分かりました。
- ・織物の種類によって手触りが違って、つるつるのものやザラザラなものなど色々あった。織り方は無限にあることに驚いた。
- ・機械で織るのは簡単そうだったけど、実際にやってみると緯糸を通すのと足を踏むのが難しかったです。
- ・今日のお話を聞いて「桐生の織物はすごいな」と感じました。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
祇園屋台・鉾伝承活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～令和8年度	
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業	
計画に記載している内容	江戸文化を色濃く残した桐生祇園祭において、本町各町会で所有している祇園屋台と鉾の損傷している部分を修理したうえで、文化財指定や常設展示を含めた公開方法について検討する。また、桐生祇園祭の次世代の後継者を育成するために、子供たちを対象としたお囃子の講習会や桐生祇園祭の歴史・風習を学ぶ講座を開催する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○祇園屋台等の修理及び一般公開 ・神輿出御提灯(新調) ○祇園囃子継承者の育成 ・練習会の実施(5回実施) ・発表会の開催(開催日 令和2年2月9日(日))		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・祇園屋台の組み上げ、修理ができる技術者の育成 ・祇園囃子の演奏者の育成と合わせ、指導者の育成も必要	

状況を示す写真や資料等

●神輿出御提灯の修理(新調)状況

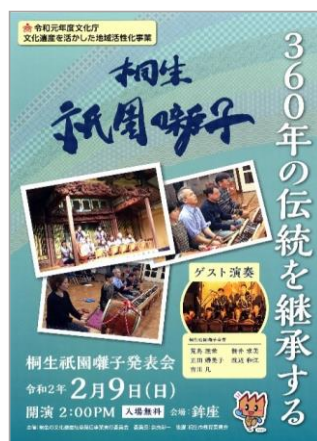


祇園祭(神輿出御)での活用状況

●祇園囃子の練習会・発表会の状況



練習生募集チラシ



発表会開催チラシ



練習会の様子



発表会の様子

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財伝承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市指定の文化財に限り、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら老朽化により保存や更新が難しくなっている祭礼・行事で使用する用具等の更新支援や修理のための情報提供を行う。また、資金不足や後継者不足により、記録化が図られていない祭礼・行事について、調査・研究を進めて記録化の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、無形民俗文化財に係る用具等の更新や修理などについての相談はなかったが、今後、相談等の申し出があれば、修理方法や補助等の支援も含め情報を提供していく。 指定・登録に該当するような文化財があれば事前に調査を実施し、記録保存も行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		補助金については予算に限りがあり難しいところもあるが、用具の更新及び修理方法等の情報提供や、祭礼・行事の記録保存については今後も実施していく	
状況を示す写真や資料等			



神楽面



獅子頭

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史まちづくり推進啓発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
本市の歴史文化資産や歴史まちづくりに関連するシンポジウム・講演会・バスツアー等を開催する。また、歴史的風致維持向上支援法人の設立を視野に、歴史まちづくりに関連する事業について、本市との適正な役割分担のもとで事業を遂行できるまちづくり団体等の設立を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致に関する内容の「歴史まちづくり講演会」を2回開催した。開催にあたっては、民間団体と連携しながら町歩きとセットで実施した。また、講演会の前には、桐生市の歴史まちづくりの取り組みについて報告した。
 (第1回: 令和元年11月10日(約40名参加)、第2回: 令和2年2月1日開催(約50名参加))
 ・伝建地区周辺整備のワークショップ第2回開催時に、ワークショップ参加者を対象に桐生の歴史に関する講演会を実施した。
 ・桐生の歴史的な名所や風景等を表彰するわがまち風景賞を中心にめぐる「桐生地域の歴史を再発見! わがまち風景賞バスツアー」を開催した(令和元年10月26日実施(約30名参加))

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

若年層の興味関心をどうひきつけるのか課題である

状況を示す写真や資料等



講演会チラシ



講演会(第1回)の様子



バスツアー見学の様子



講演会(第2回)の様子

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
「桐生を好きな子供」を育てる事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成13年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	「桐生を好きな子供」を育てる事業における歴史や文化遺産の体験事業により、地域住民との交流等を通して桐生の歴史や伝統文化に直接触れる様々な活動体験を行い、郷土愛を育成する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・桐生に愛着と誇りを持ち、将来にわたって桐生で活躍できる子どもの育成に重点を置いた様々な取り組みを、教育委員会及び市長部局の各部署、各学校及び幼稚園において実践しそれらを報告書にまとめた。その中で桐生の歴史や文化に関連する事業は、「歴史や文化遺産の体験事業」(子ども歴史講座、桐生に伝わる民話を聞こう、八木節体験、織物体験等)を73件、「史跡・歴史資料を作成」(歴史ある建物を調べ資料にまとめる)を1件、「桐生の自然や文化についての資料を作成」(自然を風景画にする、文化・環境について調べたことを学習新聞にする等)を13件実施した。 ・子どもが地域の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後等に安全に安心して活動する拠点を設け、各地域の特色や人材を生かした体験・交流活動、学習支援等を行う「放課後子供教室」において、昔遊び(割りばし鉄砲、びゅんびゅんごま、竹とんぼ等)を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	公民館や放課後子供教室などの活動内容について、桐生の歴史文化に関連したプログラムを検討する	
状況を示す写真や資料等		
 子ども歴史講座チラシ(全3回)  図書館 桐生に伝わる民話を聞こう  菱町地唄風習保存会による十日夜(とおかんや)  菱町地唄風習保存会によるしめ縄・門松作り教室		

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物調査活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域固有の歴史的資源である歴史的建造物の保存活用のため現地調査と活用に向けた相談体制の構築を図る。また、空き家空き地バンクにおける情報提供の充実と相談体制の構築を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物指定にむけて、候補となる建造物について、職員により簡易的な現地調査を行った。空き家・空き地バンクの相談件数は、物件提供と移住相談を合わせて300件程度の見込みである。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		古民家へのニーズがある一方、「バンク掲載＝不特定の人が使う」ということへの不安感や不動産に対する思いなどから該当地区の物件情報が増えないため、建物の活用に対する住民の理解、物件に対する今後の方針の確認、物件情報の収集などが必要と考える	
状況を示す写真や資料等			
			

現地調査の様子

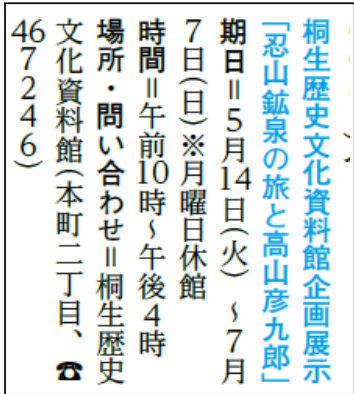
評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史文化基本構想等策定事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に存在する文化財を指定・未指定に関わらず幅広く捉えて、的確に把握し、文化財をその周辺環境を含めて総合的に保存・活用するための基本構想「歴史文化基本構想」策定に向けた調査を行う。また、現在の市史は、編さんされてから50年以上が経過していることから、新たな市史の編さんに向けた検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・黒保根地区内に分布する墓地、墓石、石造物等の悉皆調査並びに報告書作成に向けた実測図作成や銘文の判読を、立正大学の協力の下に実施し、調査資料等の整理についても併せて実施した。 ・市史編さんについては、他市の市史編さん状況を例に、桐生市において必要となる経費や期間について検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・令和元年度で現地調査を終了し、今後は令和2年度末予定している調査報告書の発行にむけた整理作業並びに執筆作業を行う ・市史編さんのあり方(費用・期間・組織体制等)について具体的な検討を行う	
状況を示す写真や資料等			
 調査風景  調査風景			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史文化資料公開事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の歴史文化に関する資料の収集、保全を進めるとともに、希少な郷土資料やゆかりのある人物などに関する資料を公開し活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・桐生歴史文化資料館への運営費補助、企画展の広報きりゅうへの掲載(2回)及びふれあいメール配信(1回) ・桐生明治館や絹然記念館において本市の歴史文化に係る資料の展示を行うほか、絹然記念館の企画展として「広報きりゅう1500号発行記念『表紙でたどる桐生の68年間』展」や「『織都桐生1300年』の秘密展」、また、「近代化遺産の日」記念事業として、桐生明治館をはじめ市内の近代化遺産の一斉公開等を実施した。 ・図書館所蔵の特殊史資料のうち、破損等により閲覧制限のあるものの複製作成による公開化を進めた。 ・絵図面に加え、昭和初期を下限とする地図の複製も作成し、展示のため貸出を行った。 ・郷土資料調査事業では歴史的風致の一つ、白瀧神社太々神楽のある川内地区の史資料調査を行い、『法然上人絵伝』中の智明上人(園田成家)末裔家の調査に着手し、目録化のための整理作業を行った。 ・川内地区調査の成果として、『川内地区諸家文書目録』を作成・刊行する予定			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		常設展や企画展など歴史文化に関する資料の公開については、文化財の活用を踏まえて工夫をしながら引き続き実施していきたい	
状況を示す写真や資料等			
 調査を行った智明上人(園田成家)末裔家系図  広報きりゅう令和元年5月号			
 広報きりゅう1500号発行記念 『表紙でたどる桐生の68年間』展(絹然記念館)  “織都桐生1300年”の秘密展(絹然記念館)			

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財案内標識整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和40年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業、ぐんま絹遺産保存活用総合支援事業補助金(平成30年度)		
計画に記載している内容	市指定文化財のうち、建造物や史跡などの看板設置が可能な物件について、その歴史的価値を解説した説明板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・県指定文化財「関の磨崖仏」の導入板を更新した。 ・市指定重要文化財「八木原龍禅寺の喚鐘」の説明板を更新した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	限られた予算の中で優先順位を考慮しながら進める		

状況を示す写真や資料等

●導入板設置



修繕前



修繕後

●説明板更新



更新前



更新後

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
観光案内等情報提供事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業・地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	桐生新町伝建地区等に訪れた観光客が歴史や文化を学びながら観光活動を楽しむ環境を整えていくために、行政、観光関係者、民間事業者、NPO法人、地域の住民などが連携して観光情報等を提供する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・着物の着付け体験や桐生新町伝建地区の散策、織物工場見学などの産業観光を本市の観光振興の中核ととらえ、桐生新町伝建地区内を中心にガイドを行う「織都桐生案内人の会」を桐生観光協会と共同で整備し、積極的な利用促進を行った。 ・低速電動コミュニティバス(MAYU)の新桐生駅を発着駅とした日本遺産周遊コースの設定、国内にいる外国人を通じた海外への波及効果を目的に、在日外国人を対象とする歴史・文化を体験できる旅行商品の造成を行った。 ・日本遺産や産業遺産を活用した観光振興や中心市街地の活性化、観光情報の収集、発信を図る公民連携の観光まちづくりの拠点施設として、群馬銀行桐生支店の敷地内に桐生市観光情報センターを開設した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



“織都桐生”案内人の会によるガイド



桐生市観光情報センター「シルクル桐生」



ツアー造成事業(ファムトリップ等の実施)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財の保存又は活用の現況について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	適正な保存を図るため、本市では全ての指定等された文化財を対象に現状確認調査及び所有者・管理者への聞き取りを実施し、群馬県においては指定・登録文化財、重要な埋蔵文化財包蔵地に対して群馬県文化財保護指導委員による「文化財パトロール」を実施している。今後は、これまで実施してきた保存・管理に係る事業を継続するとともに、保存活用計画及び「桐生市歴史文化基本構想」の策定を進め、適正な保存活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・国、県、市の指定文化財の現状確認調査や聞き取りを行うほか、管理者あての通知により指導、確認等を行った。 また、県が委託する群馬県文化財保護指導委員による文化財のパトロールと連携し文化財の現況確認を行った。 ・明治館や絹然記念館は有料の観覧施設で館内では企画展などを開催しており、有鄰館では絵画や写真などの作品展や文化活動などの発表の場とするなど様々なイベントを開催し適切に活用している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		子ども向けの企画やイベントなどを検討していく	

状況を示す写真や資料等

●文化財の活用



有鄰館での演劇祭



有鄰館での演劇祭



作品展



文化財パトロールの様子

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財の修理に関する取組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	保存修理工事など保存に伴う経費については、指定・登録文化財ともにそれぞれの補助金交付要綱に基づく支援措置を図り、目的や状況によっては、地域活性化や観光振興の補助事業を活用することにより保護を図る。また、重点区域内の建造物については、文化財保護法令における指定や登録のほか、景観法による景観重要建造物、景観重要樹木の指定や歴史的風致形成建造物の指定による景観の保全等、その保護を図る。重伝建地区においてはこれまで実施してきた伝統的建造物保存修理、防災対策事業等による文化財の維持管理とともに本町通り整備事業などによる地区内の景観形成を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市指定重要文化財の桐生倶楽部会館の2階出窓周りが経年劣化で傷んだため修理を行ったが、修理工事に際し修理方法等について助言・指導を行った。 ・登録有形文化財である水道山記念館の屋根の一部で雨漏りが発生したため、屋根の瓦葺き替え修理を実施するにあたり助言・指導を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		指定及び登録文化財の原状把握や修理に伴う指導等を行うとともに、各種補助金の活用についても検討していく	
状況を示す写真や資料等			
●桐生倶楽部会館の2階出窓周辺の修理  			
●水道山記念館の屋根修理  			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財の防災に関する取組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

計画に記載している内容	所有者に対しては防災意識の向上を図るため訪問時に防災の呼びかけを行っている。毎年「文化財防火デー」にあわせて、文化財建造物や指定文化財を保管している建造物を対象に桐生市消防本部や消防団と連携して文化財消防訓練を実施し、近隣の住民にも参加を呼びかけ、啓発を強化している。また、桐生明治館や桐生市有鄰館、彦部家住宅においては公開施設であるため独自に消防訓練を実施、桐生新町伝建地区においては「桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区防災計画」を策定し、地域住民参加による防災避難訓練を行っており、今後も継続して進めていく。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・伝建地区では、台風や火災など災害に対する住民の注意喚起を図るためチラシ等の配布を行なった。
 (伝建群だよりやチラシによる地区住民への周知、火災予防については個別訪問により、住民に直接注意を促がした)
 ・毎年、「文化財防火デー」に合わせて文化財防火訓練を実施しており、今回は「法楽寺」で実施した。
 ・重要文化財である彦部家住宅については、防火対策として消防ポンプ、火災報知設備、避雷設備等の各種点検を行い、初期消火等訓練を実施した。その他公共施設である桐生明治館や桐生市有鄰館、絹襷記念館でも消防通報から避難誘導、初期消火などの防災訓練を独自に行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

火災なども含め、地域の災害時に対する体制の強化が必要。
 各施設で作成している危機管理マニュアルを毎年見直し、防災訓練を毎年実施する。

状況を示す写真や資料等

●伝建地区の住民に注意喚起のために配布を行ったチラシ等



台風19号を受け災害に対する備えについて周知
 (伝建群だより)



火災予防に関する周知

●文化財防火訓練の様子(法楽寺)



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発に関する取組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保護に対する正しい理解と意識向上を図るため、文化財の公開に努め、各種事業の実施、情報の発信を積極的に行う。「近代化遺産一斉公開」やスタンプラリーの開催、「文化財めぐり」、所管施設の無料公開といった子どもから大人まで幅広い世代が文化財に触れる機会を創出する。講座事業としては「立正大学デリバリーカレッジ」や「出前講座」を開催し、文化財の知識と歴史的背景を伝える事業を継続して実施する。さらに、出前講座や歴史まちづくり講演会などの講座事業とともに見学会など各種イベント事業を開催することにより、文化財について幅広い知識を得ることのできるよう取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・毎年10月20日の「近代化遺産の日」記念事業として全国的に近代化遺産一斉公開を行っており、本市においても桐生明治館をはじめとする12の施設で一斉公開を実施するとともに、市内の文化財をめぐる「桐生の文化財めぐり」を実施した。 ・講座事業については、市内の中学校や高等学校からの要望により、市の文化財を広く紹介するなど「出前講座」として実施した。(計12回)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		子どもから大人まで幅広い年齢層を対象として、文化財の公開や文化財を紹介するイベントなどを検討し、今後も実施していく	
状況を示す写真や資料等			
■近代化遺産の日記念事業「桐生の文化財めぐり」の様子  旧金芳織物工場  桐生織物会館旧館  旧矢野蔵群(有鄰館)  旧模範工場桐生燃糸合資会社事務所棟 (絹燃記念館)			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

令和元年度		令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
ノコギリ屋根は桐生の宝	令和元年5月7日	桐生タイムス
本四「大織」掲揚に意欲 桐生祇園祭 祭典委で行事話し合う	令和元年5月27日	桐生タイムス
ジェットロの地域ブランド海外展開支援 桐生織、今年度も採択	令和元年6月4日	桐生タイムス
本年度に桐生市 重伝建活性化で「旧真尾邸」整備	令和元年6月4日	上毛新聞
桐生祇園祭 本格始動 天王番・本四町会が挨拶廻り	令和元年6月29日	桐生タイムス
求む 暑さに強い「天狗」来月3日の神輿渡御に参加	令和元年7月6日	桐生タイムス
後継者育成着々と “桐生祇園祭応援団”が今年度事業確認	令和元年7月16日	桐生タイムス
みこし、御旅所へ 桐生祇園祭「宵の出御」	令和元年8月2日	桐生タイムス
みこし渡御、勇壮に 桐生祇園祭 本町通り練り歩く	令和元年8月5日	桐生タイムス
次代担う12人が受講 25期目の桐生繊維大学開講	令和元年9月5日	桐生タイムス
前田原の獅子舞 継承担う女子中学生	令和元年10月2日	桐生タイムス
芸能継承に感動の声 前田原、涌丸で伝統の獅子舞	令和元年10月7日	桐生タイムス
献上品は桐生織 県、新天皇即位を祝い	令和元年10月10日	桐生タイムス
本県織物技術の粋「富岡製糸場錦絵」25日、陛下即位祝い献上	令和元年11月22日	上毛新聞
えびす講始まる ぽかぽか陽気、薄着でゆったり	令和元年11月19日	桐生タイムス
福を求めてにぎわい続く えびす講きょうまで	令和元年11月20日	桐生タイムス
お囃子やりませんか 練習生募集 来年1月鉦座で発表会	令和元年11月20日	桐生タイムス
桐生倶楽部会館 大広間の出窓の修繕が完了 100年前の姿、取り戻す	令和元年12月16日	桐生タイムス
桐生市本町1,2丁目の無電柱化 月内にも工事本格化	令和2年1月7日	上毛新聞
来年の桐生市制100周年で「市史編さんに着手を」荒木市長が意欲	令和2年1月15日	桐生タイムス
繊維の総合産地 1300年の歴史語る 桐生織伝統工芸士2人	令和2年2月1日	上毛新聞
歴史的風致形成建造物 新たに3件	令和2年2月5日	桐生タイムス
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
桐生市歴史的風致維持向上計画が認定されて以降、歴史的風致に位置付けた祇園祭や次世代への継承に関する記事が多く取り上げられており、喫緊の課題でもあるが、桐生の歴史まちづくりへの関心が高まりつつある。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	今後も引き続き、歴史まちづくりへの関心や理解を高めるため各メディアへの情報提供や情報発信に努める。	
状況を示す写真や資料等		
		
令和元年7月16日 桐生タイムス	令和元年10月7日 桐生タイムス	令和元年11月19日 桐生タイムス
		令和元年11月20日 桐生タイムス

項目

桐生祇園祭保存会の取り組みについて

計画に記載
している内容

伝統的な祭礼・行事の継承に関する課題は、祇園祭をはじめとする祭礼を実施する関係保存団体の担い手不足や経費負担である、その方針として、これらの団体との連携による担い手の育成や、市民への周知による祭礼行事の継承を挙げている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

祇園祭の継続に危機を抱き、平成28年に関係町会の関係者により保存会が発足。課題を解決すべくこれまで個々の天王番が行っていた部分を保存会が主体となり伝統を守りつつ時代に合わせた見直しを行うなど、様々な取り組みを進めてきている。今年度については、祇園祭の記録を含め伝統の継承と、この魅力を多くの人に伝えるため冊子を作成した。今後も保存会として祇園祭の次世代への継承のため積極的な取り組みが期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



計22ページにわたる祇園祭の
詳細をまとめた冊子

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 桐生市歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時: 令和2年3月 書面開催	
(コメントの概要) ・本町通り美装化事業で自然石の石畳を敷くとあるが、これは歴史的風致維持、歴史的景観を守る点から問題があるのではないかと。天満宮との連続性と言っているが、天満宮の石畳は境内地の道路であり伝建地区の景観の軸となる道路とは全く別物であるので違和感を覚える。 ・歴史的建造物等の活用こそが重要であり、その他はその為の手段・施策と言っても過言ではない。活用により魅力が高まり、入込客が増え、まちが活性化していく。そのことが結果的に文化財の保存に結びついていく。そんな良い循環が起きる事を期待している。活用計画の策定を急いで欲しい。 ・各事業が一般市民にどこまで周知されているのかが一番の問題かと思われる。また、各事業がどんなものであれ、人口減の今、関わる方が大変だと感じられる。 ・計画自体は行政の進め方がベストに近いと思うが、救いきれない事案が出てくる。そのためには、ワークショップは定期的開催するとその都度軽微な軌道修正ができて良いのではないかと考える。 ・検討には、先人たちが築いてくれたこの場所の歴史的な価値を尊重し、それを活かしつつ、理解を深めながらより発展的な整備となるような意識が必要に思われる。 ・桐生文化史談会、ファッションタウン桐生推進協議会まちづくり委員会とのかかわりにも触れていただけたらと思う。 ・今後はシンボリック・ランドマーク的な歴史的風致を進め、成果が市民に見えてこそ、機体や夢と、我が町への誇りを抱かせる施策をスピード感をもって、積極的に推進していただきたい。	
(今後の対応方針) ・今後も所有者やまちづくり団体等関係者と連携しながら歴史的建造物の活用を見据えた取り組みを検討する。 ・各整備にあたっては、歴史や歴史的価値を改めて整理しながら「歴史的資源を活かした」整備を、市民や関係者と調整し進めていく。 ・本評価を各事業の見直しの機会と捉え、協議会での意見を踏まえ、庁内での調整を図り各事業を積極的に推進していく。	